

新規入場者の「見える化」

工事現場で事故が最も多いのは新規入場者です。

現場状況・作業の流れなどを熟知していない為、事故を起こし易い

特に、現場に入ってから一週間未満の新規入場者の事故発生が多い

この為、当社では、新規入場者に対して入場初日に新規入場者教育を行います。

現場の特性、注意事項等を作成しこれを基に、協力業者用の送り出し教育資料を事前に協力業者に提示し、協力業者にて送り出し教育を行って、資料を持参した作業員のみ入場を許可しています。

新規入場者教育が終了した作業員に対して、ヘルメットシールに氏名・血液型を記入させ若葉マークをミドリ十字の上に貼ります。入場から一週間経過したら若葉マークを剥がすようにしています。

若葉マークが付いている作業員に対して、当社社員、他業者は特に作業行動等に注意、指導を行う様にしています。

又、同一作業員が他の現場に入った時は、新規入場者教育時に若葉マークを貼る様にしています（各現場の特性が違う為）

このシールにて新規入場者の「見える化」を行っています。



ヘルメットに貼る氏名シールと若葉マーク



通常時の名前シール 一週間経過したら若葉マークを剥がす。



新規入場者の名前シール 若葉マークを貼る